

第2回意向調査のまとめ（修学旅行）

令和2年9月3日（木）

意向調査へのご協力ありがとうございます。

現時点では、「中止」の判断をせず、実施に向けた準備を継続していきます。

保護者の皆さんにとっては、多くの心配事があり、親子で不安を抱えていることもあることは、重々承知しています。

そういった心配や不安を、具体的にお話ししていただいたおかげで、「子供たちの安全を第一」にするための準備につながっています。

9月下旬に、第3回目の意向調査を行います。その前であってもご心配な点等がございましたら、いつでも連絡をください。

第2回意向調査の結果

	学年合計
1 参加する	69
2 条件がそろえば参加する	12
3 参加しない	1
4 わからない	8

(9/3 (木) までの提出分を集計したものです。)

○感染の状況によって、保護者の判断は今後も変更することもありうる。

A: その通りです。引き続き、最新情報の収集に努めながら、実施できるよう準備を進めてまいります。なお、たとえ直前であってもためらわず「中止」の判断をすることは、先日の回答の通りです。

例えば、実施1か月前に、本校の児童や保護者に感染が見られた場合、保健所や市教委等に相談をしながら、「中止」の検討を始めます。該当学年の児童・教員に感染があった場合は、「中止」するべきであると考えています。

○感染者発生において、「中止」となった場合、該当児童等の精神状態も心配です。

A: まさにその通りです。感染のあった学校等では、家族も含め、偏見や差別が見られ、「いじめ」に発展する場合もあると指摘されています。新型コロナウイルスは、誰でも感染する可能性があることが報道されています。もしもの場合に備えて、事前指導が必要であることは明確です。子供には、誤解や偏見に基づく差別をしないよう、指導を繰り返していくとともに、「いじめ」につながらないか、学校全体を挙げて、子供たちを見守っていきます。

あわせて、保護者の皆さんも、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等をしないこととともに、学校における感染症対策と教育活動の両立に対するご理解とご協力をお願いします。

■参考：[令和2年8月25日、文部科学大臣からのメッセージ](#)

[「新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて」](#)

■参考：[学校だより8月28日号、](#)

[「負のスパイラルを断ち切るのは、](#)

[私たち一人一人の責任ある言動にかかっている！」](#)

■参考：[講話朝会 9月1日](#)

[「差別やいじめは絶対に許しません」](#)

○宿泊学習に関わる全ての人のPCR検査を実施してほしい。

A: 先日の回答の通り、適切なタイミングで、全員の検査は、不可能です。

例えば、発熱等の症状があり、医師の診断により検査を受ける場合、18,000円＋諸費用等からの保険適用となるようです。自費負担の場合は、30,000円前後の費用が掛かるようです。

(例：ふじみの救急クリニック、税込み3万円。一日150件超)
修学旅行の費用総額を超える負担を、全員の教職員や保護者をお願いすることは、できません。また、旅行に関わる全ての人への依頼及び検査結果の確認をすることはできません。

よって、感染リスクはゼロにはできませんが、日ごろからの健康管理と感染予防策を徹底していくことが大切であると考えています。

○旅行先でも、感染予防策を徹底してほしい。

A: 毎日の健康観察をはじめ、手洗いは欠かせません。当日は、バス会社の用意した消毒液はもちろん、アルコール消毒液を持参し、バスの乗車時等、水洗い場がない場所でも、随時、手指消毒をできるようにしていきます。

また、検温については、1日目の朝、バスに乗車する前に、非接触型検温計を用いて、全員の児童・教員を対象に実施します。健康観察カードの記載と大きなズレがあったり、37度以上であったりする場合は、その場で保護者に確認のため、電話連絡を取ります。バスの出発前までは、確実に連絡がつくようにしておいてください。バスが出発しましたら、さやまっ子緊急メールにて、子供たちが出発したことをお伝えする予定です。

○宿泊先等の感染予防策について、知りたい。

A: 先日の回答である、「バスの換気システム」、「宿泊の定員」及び「就寝時のマスク着用」のとおりです。学校と同様に、各施設等でも予防策が十分に取れているようです。

■参考：旅行会社からの情報提供 新型コロナウイルス感染症の感染予防策

- [\(1\) 旅行会社](#)
- [\(2\) 宿泊先](#)
- [\(3\) バス会社](#)
- [\(4\) その他の施設等](#)

○旅行先での感染時の対応について、知りたい。

A: 医師の診断により、PCR検査を受けた場合、一泊二日の旅行行程中に、結果が判明することはないと思われます。

発熱等の症状がある場合、先日の回答である「体調不良者が出た場合」のとおり、保護者にお迎えをお願いすることになりますが、PCR検査を受けることになった場合も同様に、お迎えをお願いします。

なお、「陽性」が判明した場合は、保健所の指示に従って行動することになります。

濃厚接触者に該当するか否かの判断も保健所がすることになります。

学校としましては、市教委に報告するとともに、保健所、学校医と連携し、対応マニュアルに沿って、行動することになります。

○現地での連絡体制を確実にしてほしい。

A:旅行会社の添乗員を中心に、旅行先の各施設とは連絡体制を確立しているのは、従前どおりです。それに加え、コロナ対応のため、病院や保健所等の連絡先リストを作成し、持参していきます。また、学校や市教委とは、携帯電話等を通じて、責任者である校長と随時連絡が取れる体制を取っています。

○すでに「中止」を判断している学校もあるようだ。

A:近隣他市町村では、全市的に「中止」と判断している場合と、学校ごとに判断をする場合とがあるようです。柏原小学校では、狭山市教委の方針により、学校ごとに判断をしております。

近隣他市の学校では、8月末より、日光への修学旅行を実施している学校もあります。

9月に出発を予定する市内の学校としては、隣の柏原中学校が最初になります。小学校では、10月中旬から、順次出発する予定となっています。

なお、すでに中止を判断した市内の学校は、現時点では、ありません。

○保護者でできるお手伝いは何かあるか。

A:子供に一生に一回の思い出作りをさせたいとの強い願いからの申し出をいただきました。とても有難い申し出であり、心より感謝申し上げます。

まず、ご家族を含めた健康管理の徹底をお願いします。出発日当日、同居家族の発熱があった場合、これまでの通知に基づき、「出席停止」となり、お子さんが元気であっても修学旅行には参加できません。運動、睡眠、バランスの良い食事など、ご家族全員で改めて健康面について、ご留意ください。

また、正しい情報に基づき、お子さんにとって最善の判断をしてください。ご家族で不安や心配について話し合い、いわゆる With コロナの中での新しい生活の仕方を家族で共有することも大事だと考えます。

今後も、子供を中心に、学校と家庭とが一緒になって教育活動を進めていきたいと思っております。

■参考：[保護者説明会のまとめ 令和2年7月28日（火）](#)